

福祉に興味のあった私たちは、2015 年度から交流のある岡田山団地集会所にて、1 年間活動をすることにしました。まず、高齢者についての社会問題や課題を探るため、西宮市社会福祉協議会の方に、岡田山住宅の状況や周辺地域の環境について教えていただきました。また、これまでと運営方針が変わるということで、私たちは先輩たちの活動内容を引き継ぎつつ、継続的な参加者を固定化し、そして高齢者、住民同士の繋がりが深まるようなイベントを計画することにしました。

●女学院カフェ ～1 回目～●

(日時) 2018 年 7 月 28 日 (土)  
 (対象) 岡田山市営住宅とその近隣の方々  
 (参加) 17 名、社協スタッフ 2 名  
 (学生スタッフ) 5 名

1 回目のイベントは「高齢者に私たちを知ってもらう」ことを目的としました。イベントを実施するまでに高齢者のみなさんとあまり交流できなかったのも、自分たちを覚えてもらうための自己紹介や交流がメインのプログラムにしました。

準備するにあたり、先輩からアドバイスをお聞きしました。スタッフの人数が少ないため、臨機応変に動けるよう全員が段取りを把握しておくこと、約 20 名前後の参加者全員に学生それぞれが目を配り、会話の輪を広げることが大事ということで、意識しながらイベントをすることにしました。

イベント前にチラシを作成し、岡田山住宅とその近隣の住民の方へ広報活動を行いました。当日は約一年ぶりの女学院生のイベントということで、多くの方が楽しみに来てくださいました。玄関でお出迎えをし、くじ引きで座るテーブルを決めてもらいました。

いよいよイベント開始です。まずは「自己紹介」から始め、テーブル対抗「ご当地クイズ」、「漢字組み合わせクイズ」を行いました。問題を多く用意していたので、テーブルごとで協力する時間が多く、盛り上がった様子でした。その後は、



これまで先輩がしてきたように「カフェ」タイムをとり、私たちも参加者のみなさんと、お茶の時間を共有しました。

初めてのイベントでとても緊張しましたが、みなさんの集会所での雰囲気がかむこと、またお話をしているうちに、「1 人暮らしが寂しい、話す人がいない」といった生の声を知ることができました。

●女学院カフェ ～2 回目～●

(日時) 2018 年 9 月 29 日 (土)  
 (対象) 岡田山市営住宅とその近隣の方々  
 (参加) 16 名、社協スタッフ 1 名  
 (学生スタッフ) 5 名

2 回目のイベントでは、前回同様私たちを知ってもらうことに加え、「私たちもみなさんのことを知る」ことを目的としました。また授業の枠をこえた繋がりができるよう、本学の煎茶道部にもご協力いただき、実際にお手前を披露してもらうことにしました。いつもはおしゃべりの時間を楽しんでおられる方ばかりですが、間近でのお手前が始まると、とても静かな雰囲気



気で時間が流れました。お手前について一つ一つ説明しながら、時にはお湯を注ぐ音にも耳をすましていました。

参加者の中には煎茶経験者もおられ、昔のお話に花を咲かせており、私たちの知らないことを教えてくれました。煎茶だから、と初めて来られた方もいました。お手前の後は、普段でも飲めるよう美味しいお茶の煎れ方を載せたしおりと手作りのコースターをプレゼントしました。初めてお手前を見る方もそうでない方も楽しんでいただくことができました。神戸女学院大学煎茶道部のみなさま、ご協力いただきましてありがとうございました。



●女学院カフェ ～3回目～●

(日時) 2018年11月17日(金)

(対象) 岡田山市営住宅とその近隣の方々

(参加) 19名、社協スタッフ1名

(学生スタッフ) 5名

3回目のイベントは新規開拓を目指しがらりと内容を変え、「本格カフェ」を開催しました。これまでは最後にお茶の時間を設けていましたが、今回はお越しいただいたタイミングでお好きな種類の飲み物をだし、参加者の方が自由に時間を過ごせるようにしました。みなさんがお話をしている横でコーヒー豆を挽くところからはじめ、香りも楽しんでいただけました。



また、内容を固定せず、テーブルごとに大人のぬり絵、折り紙、トランプのコーナーを設置し、興味のある場所へ自由に座っていただくこと

にしました。この3つはアンケートで希望のあった「頭を使うこと」「作品づくり」から構想を立てました。前回手作りのお土産が好評だったので、今回はしおりに用意しました。

広報についても、新しいことを実施。チラシはポストインだけでなく、一部の方へはお宅へかがい対面で配付しました。また、集会所の外に立て看板を作ることで、集会所に訪れたことのない方も気軽に来られる導線作りをしました。普段はあまりいらっやらない男性にも複数名お越しいただくことができました。



●女学院カフェ ～4回目～●

(日時) 2018年12月22日(土)

(対象) 岡田山市営住宅とその近隣の方々

(参加) 27名(うち子ども6名)、

社協スタッフ1名

(学生スタッフ) 5名

私たち最後のイベントは、「高齢者同士の繋がりを強くする」「他の人たちに私たちの活動を引き継いでもらえるような環境づくり・広報」という全体目標を掲げて行いました。今回もチラシ配布以外に立て看板

を設置しました。看板を見た方など、初参加の方も何人も来ていただきました。

4回目は時期が近かったのでクリスマス会にし、クリスマスケーキを作ることにしました。各テーブルにケーキのスポンジと生クリーム、フルーツを用意し、思い思いにデコレーションしてもらいました。作ったケーキを食べながらカフェタイムを楽しみました。



アンケートで「歌を歌いたい」と希望があったので、最後にみんなでクリスマスソングを歌いました。お見送りのさい、4回分の感謝をこめて、私たちから1人1人に手作りのクリスマスカードを贈りました。いつも来てくださる方にも、初めてきた方にも「楽しかったよ、また来たい」と言っていただけでとても嬉しかったです。

最後のアンケートで、女学院カフェを継続してほしいですか?という問いに、全員が「はい」とご回答くださいました。私たちの活動を喜んでいただけたことを実感しました。今後もこのつながりが続いていくことを願っています。

毎回のイベントのために、何度もお打合せくださり、ご尽力いただいた西宮市社会福祉協議会と岡田山住宅管理運営委員会のみなさまに、心から感謝いたします。そして、私たちの「女学院カフェ」にお越しくくださったみなさま、本当にありがとうございました。

